

ご意見箱に寄せられたご意見

(令和7年4月)

患者さんご意見	病院から患者さんへ
今回 30 年振りで入院を致しました。入院をして思った事 特別部屋の希望を致しました。でも私が入院して 17 日間お世話になり、4/15 に退院致しました。入院して見て部屋のトイレが17日間全然使うことができませんでした。部屋のトイレは3日間しか使っていません。 なぜなら、私は毎日車椅子だった為、昼間も夜も夜中も遠い所まで車椅子に乗りトイレに行っていました。なんの為に特別部屋に入ったか、トイレも入れてシャワーも出来てそれが一番の希望でした。それが全然できなくトイレも狭くシャワーも出来ず最悪でした。お金も何も無かったように普通に支払をしておかしいですね。病院外でも良く教えたほうがいいと思います。	※掲示希望あり この度は、ご不便おかけし大変申し訳ございませんでした。 当院の特別個室のトイレ・シャワー室は、車椅子の患者さんが安全にご利用いただくためのスペースの確保ができないため、病棟内の多目的トイレと浴室をご利用いただいております。 今後は今回いただきましたご意見を踏まえ、病室の在り方について検討して参ります。 この度は、貴重なご意見をいただきありがとうございます。 公立岩瀬病院 土屋貴男
大腸のポリープをとる時に詳しい説明もなく(料金など)大腸のカメラの検査中にとるかからないか急に聞かれました。女の先生です。検査が終わったあとに、一週間お酒が飲めなかったり長風呂がだめであると説明を受けました。そういった説明は事前に詳しく教えてほしいです。結局、大きなポリープがあり入院が必要と言われました。検査日にポリープをとって料金があがったのに結局後日入院してポリープをとるのなら入院した時に一気にとってしまったほうが料金がかからないのではと損をした気持ちになりました。先生の態度も少し怖かったです。	※掲示希望あり この度は、ご不快な思いをさせてしまい、申し訳ございませんでした。 現在、一般的な大腸内視鏡検査において小ポリープを認めた場合は、検査当日にポリープを取ってしまう(コールドスネアポリペクトミーと言います)ことが通常となっております。消化器内科外来では大腸内視鏡検査を予定する際に、事前にコールドスネアポリペクトミーを希望するか確認し、説明を行なった上で施行しています。 しかしながら、総合診療科や外科からの大腸内視鏡検査依頼の場合、コールドスネアポリペクトミーについて説明されておりませんでした。小ポリープを認めた場合には、再検査は前処置を含め患者さんの負担になることからポリペクトミーを行った方が良いと判断され、その場での説明が常態化しております。

	今後は、いずれの科からの依頼でも、事前にコールドスネアポリペクトミーについて十分説明するように、検査説明書に記載するよう変更いたします。 また、10mm以上のポリープの場合には、安全性の観点からも入院で大腸粘膜切除術（EMR）を行う必要がございます。一旦内視鏡を盲腸まで挿入し、抜きながらの大腸の深部から観察して参りますので、当初は小ポリープの判断でも、後から大きなポリープが観察されることは起こり得ます。この点は、ご理解いただく必要がありますが、事前に説明が足りなかったと反省しております。 今後は、説明不足が起こらないように改善する所存であります。 この度は、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。 公立岩瀬病院 土屋貴男
--	---